

付録3 関係省庁からの重要な情報

付録3では、気象庁等の資料から、教職員が目を通しておくべきであり、また、児童生徒の防災教育に活用できるものを掲載した。学校においては、教職員研修の場面や児童生徒への防災教育で、これらの資料を活用してほしい。

【帰宅困難者となった場合の対応について】

活動範囲が広がる中学生以上では、帰宅困難者となった場合を想定した教育にも取り込まれることが望ましい。

〔例〕名古屋駅周辺にいるときに、南海トラフ巨大地震が発生した場合

（第2次名古屋駅周辺地区都市再生安全確保計画（平成28年2月）に基づく対応）

☆避難行動のながれ（「施設管理者等による滞在者・来訪者への誘導の方向性」から抜粋）

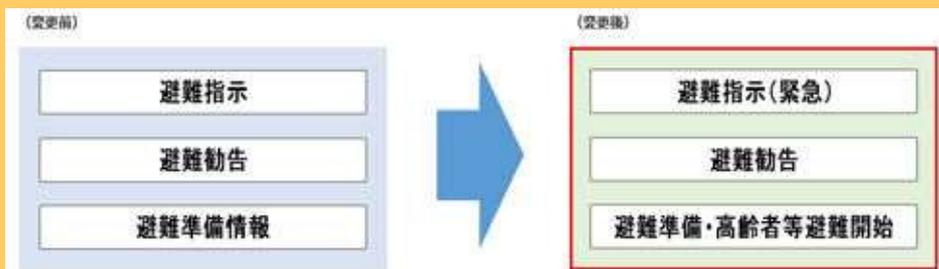
- ① 発災直後は、安全確認がとれた建物においては屋内待機とし、その他は*1一時退避場所または、近隣の広域避難場所等へ誘導します。
- ② 発災から6時間までの間は、徒歩帰宅可能者に対しては道路が混雑しないように順番に徒歩帰宅を支援し、帰宅困難来訪者に対しては建物の安全点検完了後に*2退避施設へ受け入れます。
- ③ 発災後6時間から24時間までの間は、退避施設で退避し、帰宅に向けて他地区へ移動を開始します。

| 施設 | 用語の意味 | 施設名称 |
|----------------|---|--|
| 一時退避場所 (*1) | 大規模地震発生時に、施設の安全性が確認されるまでの間、滞在者・来訪者が一時的に退避するための場所 | ノリタケの森、ウインクあいち、ミッドランドスクエア、JR名古屋駅 など |
| 退避施設 (*2) | 発災から24時間を限度として帰宅困難来訪者を受け入れるための施設で、帰宅困難来訪者が安全に風雨をしのぐことのできる施設 | ウインクあいち、ミッドランドスクエア、JRセントラルタワーズ、名鉄ビル など |

【避難準備情報の名称変更について】

平成28年の台風第10号による水害では、死者・行方不明者27人が発生する等、東北・北海道の各地で甚大な被害が発生し、岩手県岩泉町ではグループホームが被災し、入所者9名が全員亡くなる等、高齢者の被災が相次いだ。

「避難準備情報」の名称については、本水害では、高齢者施設において、適切な避難行動がとられなかったことから、高齢者等が避難を開始する段階であるということを確認するため、「避難準備情報」を「避難準備・高齢者等避難開始」に名称変更された。（平成28年12月26日公表）



出典 内閣府ウェブサイト「防災情報のページ」



一
&
(
%
\$
”
)
!
#



東日本大震災による津波や、平成23年台風第12号による紀伊半島を中心とする大雨では、極めて甚大な被害が出ました。これらの災害において、気象庁は警報をはじめとする防災情報により重大な災害への警戒を呼びかけたものの、災害発生危険性が住民や地方自治体に十分には伝わらず、迅速な避難行動に結びつかない例がありました。気象庁ではこの事実を重く受け止め、大規模な災害の発生が切迫していることを伝えるために、新たに平成25年8月から「特別警報」を創設することになりました。



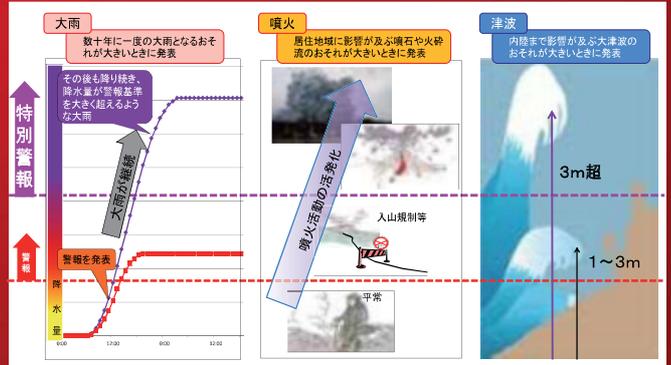
音声コード

特別警報は、これまでにない危険が迫っていることをお知らせします

特別警報が発表されたら

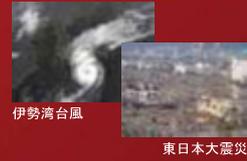
- ・ 尋常でない大雨や津波等が予想されています。
- ・ 重大な災害が起こる可能性が非常に高まっています。
- ・ ただちに身を守るために最善を尽くしてください。

特別警報のイメージ



特別警報に相当する過去の災害

特別警報は「東日本大震災」や「伊勢湾台風」のような、誰もが一度は聞いたことがある災害に匹敵する災害が予想される場合に発表されます。



特別警報に相当する事例

| 気象等 | 事例 | 死者行方不明者 |
|------------------------|-------------------------|-------------|
| H24.7 九州北部豪雨(大雨) | 死者行方不明者32人 | 32 |
| H23 台風第12号(大雨) | 死者行方不明者98人 | 98 |
| S34 伊勢湾台風(大雨・暴風・波浪・高潮) | 死者行方不明者5,000人以上 | 5,000+ |
| S9 室戸台風(大雨・暴風・高潮・波浪) | 死者行方不明者3,000人以上 | 3,000+ |
| H23.3 東北地方太平洋沖地震 | 死者行方不明者18,000人以上 | 18,000+ |
| H5.7 北海道西南沖地震 | 死者行方不明者230人 | 230 |
| S58.5 日本海中部地震 | 死者104人(いずれも地震を含む) | 104 |
| H12 三宅島 | 全島民避難 | 15,000人以上避難 |
| H12 有珠山 | 死者行方不明者43人 | 43 |
| H3 雲仙岳 | 死者行方不明者43人 | 43 |
| H23.3 東北地方太平洋沖地震 | 死者行方不明者18,000人以上(津波を含む) | 18,000+ |
| H20.6 岩手・宮城内陸地震 | 死者行方不明者23人 | 23 |
| H19.7 新潟県中越沖地震 | 死者15人 | 15 |
| H16.10 新潟県中越地震 | 死者68人 | 68 |
| H7.1 兵庫県南部地震 | 死者行方不明者5,437人 | 5,437 |

普段からの備えと早め早めの行動があなたや身近な人の命を守ります

災害から身を守るために(大雨の場合)

普段から… 気象情報・空の変化に注意

大雨になるおそれ 雨が降り出す

注意報 雨が強くなると… 最新の情報に注意して、災害に備えた早めの準備を雨風の影響を受けやすい地区・避難困難者は早めの行動!

警報 大雨が降り続けると… 自治体が発表する避難に関する情報に注意し、必要に応じ速やかに避難

非常事態 さらに激しい大雨が続くと… 市町村からの避難勧告等に従い直ちに避難所に避難! 外出が危険なときは、家の中で少しでも安全な場所に移動

特別警報 特別警報が発表されている中でも早め早めの行動を!

冷静な判断が大事です! 周囲の状況に応じた行動を!

「住居の位置」や「住居の構造」が既に浸水が生じている状況なのか否かによって「自宅外避難」の必要性は異なりますので、冷静な判断が重要です。災害から命を守ることができる行動を考えておきましょう。

- 「特別警報が発表されない」ば 災害が発生しないではありません。
- ・ これまでどおり注意報、警報、その他の気象情報を活用し、早めの行動をとることが大切です。
 - ・ 普段から避難場所や避難経路を確認しておきましょう。

数十年に一度の大雨などが予想された場合に特別警報を発表します

特別警報の発表基準

| 現象の種類 | 基準 |
|-------|--|
| 大雨 | 台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合 |
| 暴風 | 暴風が吹くと予想される場合 |
| 高潮 | 高潮になると予想される場合 |
| 波浪 | 高波になると予想される場合 |
| 暴風雪 | 数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合 |
| 大雪 | 数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合 |

表中の「数十年に一度」の現象に相当する降水量等の客観的な指標は気象庁ホームページで公表しています。

大津波警報などを特別警報に位置づけます

| 現象の種類 | 基準 |
|---------|---|
| 津波 | 高いところで3メートルを超える津波が予想される場合(大津波警報を特別警報に位置づける) |
| 火山噴火 | 居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合(噴火警報 噴火警戒レベル4以上)及び噴火警報(居住地域)を特別警報に位置づける) |
| 地震(地震動) | 震度6弱以上の大きさの地震動が予想される場合(緊急地震速報 震度6弱以上)を特別警報に位置づける) |

命を守るために情報の収集に努めてください

特別警報は、自治体や報道機関を通じて伝えられます。テレビやインターネット、自治体から発信される情報の収集に努めてください。



気象庁
〒100-8122 東京都千代田区大手町1-3-4
電話 03-3212-8341 FAX 03-6689-2917 耳の不自由な方向け
気象庁ホームページ <http://www.jma.go.jp>
特別警報について <http://www.jma.go.jp/jma/kishou/kishou/knownokubetsu-keiho/index.html>



どんな時に発表するの？

最大震度₅弱以上を予想した時に、震度₄以上を予想した地域に対して緊急地震速報(警報)を発表します。
以下の手段で専用の報知音とともに伝えられます。



この他、知りたい場所の震度や猶予時間を入手できる受信端末、スマートフォンのアプリなどのサービスもあります。
※一部対応していない機種があります

報知音

緊急地震速報の報知音をあらかじめ試聴しておき、聞いたときにとっさに身を守る行動がとれるようにしておきましょう。

報知音の主なものには
・テレビやラジオ、防災行政無線などで使用されている「チャイム音」
・携帯電話会社共通の「ブザー音」
があります。

気象庁ホームページ内には、報知音の試聴ページへのリンクを掲載しています。

「緊急地震速報を見聞きした時」

<http://www.data.jma.go.jp/svd/eeew/data/nc/koudou/koudou.html>

ご利用にあたって

- 震源に近い地域では、緊急地震速報の発表が強い揺れに間に合わないことがあります。
- 緊急地震速報で予想する震度は、±1階級程度の誤差を伴います。震源が観測点から遠い場合や深い場合は、誤差が大きくなる場合があります。

※ご注意ください！

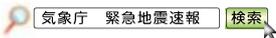
気象庁が、国民のみなさまに受信端末の設置を義務づけたり、直接設置に伺ったりすることはありません！

※緊急地震速報は、公財財団法人気象総合技術研究所と気象庁による共同技術開発と、国立研究開発法人防災科学技術研究所による技術開発の成果により可能となりました。

【お問い合わせ先】

気象庁
〒100-8122 東京都千代田区大手町1丁目3番4号
電話：(03)3212-3341(代表)
FAX：(03)6689-2917(車の来自由な方向)
気象庁ホームページ <http://www.jma.go.jp/>
緊急地震速報について <http://www.data.jma.go.jp/svd/eeew/data/nc/index.html>

詳しくは



このウェブサイトは、印刷用の紙へリサイズできます。

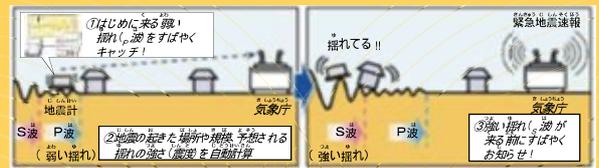
平成28年3月

ぼくたちの命をまもるおしらせだ
高知県 北岡七海さんの作品

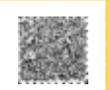
緊急地震速報

地震による強い揺れを事前にお知らせ

緊急地震速報のしくみ



気象庁



音声コード

緊急地震速報 利用の心得

周囲の状況に応じて

緊急地震速報を見聞きしたら...
(地震の揺れを感じなくても)

あわてず、まず身の安全を!!

地震の揺れを感じたら...
(緊急地震速報がなくても)

家庭では

- 頭を保護し、じょうぶな机の下など安全な場所に避難する
- あわてて外へ飛び出さない
- わりに火を消そうとしない



鉄道・バスでは

- つり革、手すりにしっかりつかまる



エレベーターでは

- 最寄りの階に停止させ、すぐにおりる



屋外(街)では

- スロッキン堀の倒壊に注意
- 看板や割れたガラスの落下に注意



自動車運転中は

- 急ブレーキはかけず、ゆるやかに速度をおとす
- ハザードランプを点灯し、まわりの車に注意をうながす



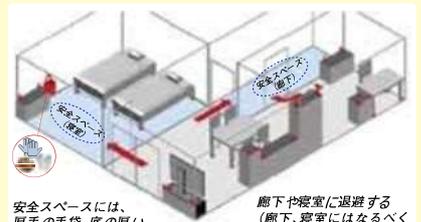
上記のほか、訪れた施設等において緊急地震速報を見聞きした時は、身を守り、係員の指示に従ってください。

日頃の備え

① 「安全スペース」を作りましょう

地震の揺れに備え、室内に安全スペース(物が落ちてこない、倒れてこない、移動してこない空間)を作っておきましょう。
緊急地震速報を見聞きしたり揺れを感じたら、安全スペースへ退避し、姿勢を低くして身を守りましょう。

詳細は東京消防庁ホームページ「家具類の転倒・落下・移動防止対策ハンドブック」を参照してください。



安全スペースには、厚手の手袋、底の厚い履物を用意しておく

廊下や寝室に退避する(廊下、寝室にはなるべく物をおかない)

安全スペースのイメージ(共同住宅の例)

② 訓練をしましょう

6月及び11月5日(津波防災の日)前後に緊急地震速報の訓練を実施しています。

緊急地震速報の訓練を行うための動画やスマートフォンアプリ*もあります。

これらの機会やツールを利用して、定期的に身を守る訓練をしましょう。

*緊急地震速報訓練を実施するための映像・教材など(気象庁ホームページ)
<http://www.data.jma.go.jp/svd/eeew/data/nc/kunren/kit.html>



学校での訓練の様子

シェイクアウト訓練

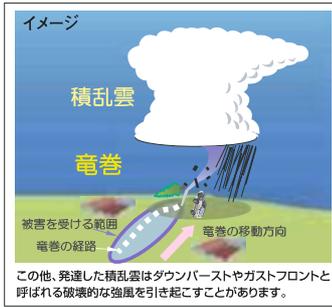
主催者(主に自治体)が、「科学的な地震災害のシナリオ(訓練の想定)と日時を決めて、「訓練会場」を限定しないのが特徴の訓練です。参加者は、決められた日時に職場・学校・家庭等のいつも過ごす場所で、シナリオに合わせて地震から身を守るための訓練をします。下記ホームページでは、全国での訓練予定が確認できます。お住まいの地域で実施される場合は、積極的に参加してみましょう。



地震発生時の安全確保行動1.2.3 ①まず低く ②頭を守り ③動かない
出典:効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議

効果的な防災訓練と防災啓発(シェイクアウト)提唱会議 <http://www.shakeout.jp/>

竜巻とはこのような現象です



- 竜巻は、発達した積乱雲に伴って発生する激しい渦巻きです
- ろうと状や柱状の雲を伴っています
- 台風、寒冷前線、低気圧などに伴って発生します
- 短時間で狭い範囲に集中して甚大な被害をもたらします
被害は、長さ数km、幅数十～数百mの狭い範囲に集中します。
- 移動スピードが非常に速い場合があります
過去に発生した竜巻の中には、時速約90km(秒速25m)で移動したものもあります。

竜巻は甚大な被害をもたらします。
【地元気象台による現地調査写真など】



建物等の被害は防げませんが、身の安全を守るための対策は可能です！

竜巻から 竜巻注意情報 身を守る

「竜巻注意情報」は竜巻の発生する“危険な気象状況”をお知らせして、身を守るための行動の準備を促すものです。



平成11年9月に愛知県豊橋市で発生した竜巻(豊橋市提供)



音声コード

「竜巻注意情報」が発表されたら・・・

- 特に**
- ・人が大勢集まる屋外行事
 - ・テントの使用や、子供、高齢者を含む屋外活動
 - ・高所、クレーン、足場等での作業

のように、安全確保にある程度の時間を要する場合には、早めの避難開始を心がけてください。

**発達した積乱雲の
近づく兆しがある場合には、
頑丈な建物内に移動するなど、
安全確保に努めてください。**

「発達した積乱雲の近づく兆し」とは・・・

以下のような状況になると、竜巻の発生するような発達した積乱雲が、あなたの周辺まで近づいている可能性があります。

- ◆ 真っ黒い雲が近づき、周囲が急に暗くなる。
- ◆ 雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりする。
- ◆ ヒヤッとした冷たい風が吹き出す。
- ◆ 大粒の雨や「ひょう」が降り出す。

ひょう



【注】発達した積乱雲が近づいた場合に代表的な兆候を記したものです。しかし、これらの兆候が必ず発生するとは限りませんし、まったく見えない場合もあります。異常を感じたら、早めの避難を心がけてください。

「竜巻注意情報」の発表から約1時間は注意してください。危険な気象状況が続く場合は、改めて情報を発表します。

「竜巻注意情報」で竜巻への注意を呼びかけます

竜巻発生の可能性に応じた段階的な情報発表を行います。

情報発表のタイミング

- 半日～1日前** **「気象情報」発表**
■「竜巻など激しい突風のおそれ」と明記します。
- 数時間前** **「高注意報」発表**
■落雷、ひょう等とともに、「竜巻」も明記します。
- 0～1時間前** **「竜巻注意情報」発表**
■今、まさに竜巻の発生しやすい気象状況になっていることをお知らせします。

竜巻が発生しやすい気象状況かどうか事前に確認

外出前に最新の注意報を確認

空の様子に注意し、積乱雲が近づくと兆しを感じたら、ただちに身の安全を確保

〇〇県竜巻注意情報 第1号
平成××年7月25日12時35分 △△地方気象台発表
〇〇県南部は、竜巻などの激しい突風が発生しやすい気象状況になっています。
空の様子に注意してください。雷や急な風の変化など積乱雲が近づくと兆しがある場合には、頑丈な建物内に移動するなど、安全確保に努めてください。落雷、ひょう、急な強い雨にも注意してください。
この情報は、25日13時50分まで有効です。

※「竜巻注意情報」は、「竜巻」だけでなく、発達した積乱雲に伴って発生する激しい突風(ダウンバースト・ガストフロント)も対象としています。
都道府県内のどの地域で、いつまで注意が必要か明記しています。(発表から約1時間が目安)

「竜巻発生確度ナウキャスト」

ナウキャストで詳細な領域を把握できます。

戸外では、携帯電話サービスで最新のナウキャストを随時確認

竜巻など激しい突風が発生する可能性が高い領域を、2段階の発生確度で表します。

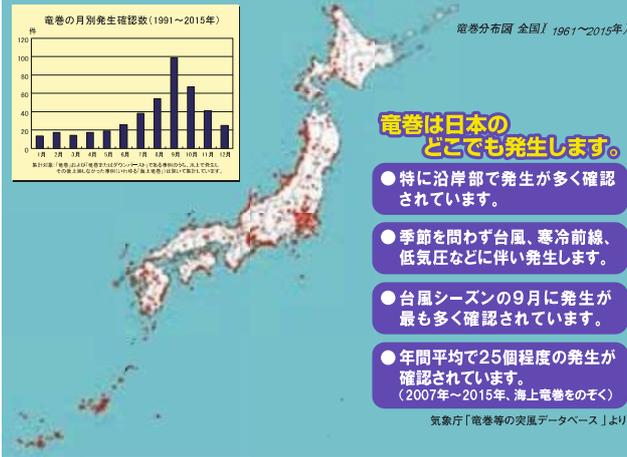


(PC) <http://www.jma.go.jp/jp/radnow/>
(携帯) <http://www.jma.go.jp/jp/hosaijoho/m/radnow/>



現在の観測・予測技術では、竜巻等激しい突風の発生を事前に予測できない場合もあります。

日本で発生する竜巻は・・・



日本における主な竜巻災害(1990年以降)

| 発生日時 | 発生場所 発生場所 | Fスケール | 長さ | 最大風 | 被害 死者数/負傷者 |
|--------------------|---|-------|-----------|-------|---------------------------|
| 2013年09月02日14時00分 | 埼玉県さいたま市 埼玉県熊谷市 埼玉県北葛飾郡柏町 千葉県野田市 茨城県取手市 | F2 | 19.0km | 300m | 負傷者76名、全壊32棟、半壊215棟 |
| 2012年5月6日12時35分頃 | 茨城県常陸市 茨城県つくば市 | F3 | 17.0km | 500m | 死者1名、負傷者37名、全壊76棟、半壊158棟 |
| 2011年11月18日19時10分頃 | 鹿児島県大島郡豊之島町 | F2 | 0.6km | 100m | 死者3名、全壊1棟 |
| 2006年11月7日13時23分 | 北海道佐呂間町 | F3 | 1.4km | 300m | 死者9名、負傷者31名、全壊7棟、半壊7棟 |
| 2006年9月17日14時03分 | 宮崎県延岡市 | F2 | 7.5km | 300m | 死者3名、負傷者143名、全壊79棟、半壊348棟 |
| 1999年9月24日11時07分 | 愛知県豊橋市 | F3 | 18.0km | 550m | 負傷者415名、全壊40棟、半壊309棟 |
| 1990年12月11日19時13分 | 千葉県茨城市 | F3 | 6.5km | 1200m | 死者1名、負傷者73名、全壊82棟、半壊161棟 |
| 1990年2月19日15時15分頃 | 鹿児島県枕崎市 | F2～F3 | 3.0～4.0km | 200m | 死者1名、負傷者18名、全壊29棟、半壊88棟 |

*1 Fスケール(藤田スケール):竜巻などの強さを示す指標。被害状況から竜巻の強さ・規模を推定する際に利用されます。
*2 死者数/家屋被害は防災機関等の資料に基づき集計した。竜巻以外の被害も含まれている場合があります。

気象庁
Japan Meteorological Agency
〒100-8122 東京都千代田区大手町1-3-4
TEL:03-3212-8341(代表)
FAX:03-6689-2917(耳の不自在な方向へ)
<http://www.jma.go.jp/>

このリーフレットは、印刷用紙にリサイクルできます。 平成28年2月

「竜巻」が間近に迫ったら・・・

すぐに身を守るための行動をとってください!!

- 屋外では** 頑丈な構造物の物陰に入って、身を小さくする。
- 屋外では** 物置や車庫・プレハブ(仮設建築物)の中は危険。
- 屋外では** シャッターを閉める。
- 屋内では** 家の1階の窓のない部屋に移動する。
- 屋内では** 窓やカーテンを閉める。
- 屋内では** 窓から離れる。大きなガラス窓の下や周囲は大変危険。
- 屋外では** 電柱や太い樹木であっても倒壊することがあり、危険。
- 屋内では** 丈夫な机やテーブルの下に入るなど、身を小さくして頭を守る。

「竜巻」に遭遇した人の声

このような場合には、あなたの身に危険が迫っています!

“ゴー”という音がしたのでいつもと違うと感じた。山すそが見えないほど真っ黒い雲の雲がろうと状に覆れ下がり、トタンのようなものを巻き上げながら進んでいくのを見た。

掃除機で吸っているようだった。トタンとか発泡スチロールとか色々なゴミが飛んでいた。

札幌管区気象台(気象庁気象調査報告「平成18年11月7日から9日に北海道(佐呂間町)で発生した竜巻等の突風」より)

*気象庁では、竜巻によると認められる突風災害が発生すると、発表済みのため、地元気象台が現地調査を行っています。



沖縄、下地島空港付近で観測されたろうと雲

津波警報 注意報の分類と、とるべき行動

| | 予想される津波の高さ | とるべき行動 | 想定される被害 |
|-------|--------------------|---------|--|
| | 数値での発表(発表基準) | | |
| 大津波警報 | 10m超 (10m以上) | 巨大 | <p>沿岸部や内陸にいる人は、ただちに海岸や高層ビルなど安全な場所に避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が発表されるまで安全な場所から離れないでください。</p> <p>木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。</p> |
| | 10m (5m～高さ<10m) | | |
| | 5m (3m～高さ<5m) | | |
| 津波警報 | 3m (1m～高さ<3m) | 高い | <p>ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう！</p> <p>津波の高さ(10mを超える津波)より木造家屋が流失。</p> <p>標高の低いところでは津波が強い。浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。</p> |
| 津波注意報 | 1m (20cm～高さ<1m) | (表記しない) | <p>海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。津波注意報が発表されるまで内陸入り海岸に近寄らないでください。</p> <p>海の中では強い揺れに巻き込まれる。波が打ち寄せ、溺れる可能性がある。</p> |

・震源が陸地に近いと津波警報が津波の襲来に間に合わないことがあります【揺れたら避難】を徹底しましょう。
 ・津波は沿岸の地形などの影響により局所的に予想より高くなる場合があります。より高い場所を目指して避難しましょう。
 ・地震発生後、予想される津波の高さが20cm未満で被害の心配がない場合、または津波注意報の解除後も海面変動が継続する場合には、津波予測(若干の海面変動)を発表します。

津波ハザードマップと津波標識

津波ハザードマップや津波標識は、津波発生時に浸水が予想される区域や避難場所を示すものです。日頃から色々な場面を考慮して、避難経路や避難場所を確認しておきましょう。

※津波の規模は様々であり、浸水想定区域から外れている地域においても浸水する可能性があります。ことに注意が必要です。

気象庁 地震火山部 管理課 地震津波防災対策室
 〒100-8122 東京都千代田区大手町1-3-4
 TEL: 03-3212-8341(代表) FAX: 03-6689-2917(耳の不自由な方向け)

気象庁ホームページ <http://www.jma.go.jp/>
 津波警報の改善について http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/tsunami_keihou_kaizen/index.html

このリーフレットは、印刷時の紙へリサイクルできます。 平成25年3月

平成25年3月

津波警報が変わりました

津波警報は、津波による災害の発生が予想される時に発表される重要な情報です。



津波から命を守るためには、

- ・強い揺れ弱くてもゆっくりとした長い揺れを感じたら
- ・揺れが弱くても、津波警報を見聞きしたら

▶▶▶▶▶ すぐに避難!



音声コード

津波警報 注意報

津波による災害の発生が予想される場合には、地震発生後、約3分で大津波警報、津波警報または津波注意報を発表します。その後「予想される津波の高さ」「津波の到達予想時刻」等の情報を発表します。

マグニチュード8を超える巨大地震の場合「巨大」という言葉を使った大津波警報で、非常事態であることを伝えます



津波警報の発表(巨大地震発生時のイメージ)

「巨大」という言葉を見たり聞いたりしたら、東日本大震災クラスの津波が来ると思って、ただちに高い場所に避難しましょう!

正確な地震の規模が分かった場合「予想される津波の高さ」を、1m、3m、5m、10m、10m超の5段階で発表します

- ・これまで8段階で発表していた予想される津波の高さについて、被害との関係や、予想される高さが大きいほど誤差が大きくなることなどを踏まえ、5段階に集約します。
- ・津波警報等の発表時には、各区分の「高い方の値」、予想される津波の高さとして発表します。

| | 予想される津波の高さ | |
|-------|------------|-------|
| | 高さの区分 | 発表する値 |
| 大津波警報 | 10m～ | 10m超 |
| | 5m～10m | 10m |
| 津波警報 | 3m～5m | 5m |
| | 1m～3m | 3m |
| 津波注意報 | 20cm～1m | 1m |

例: 3mから5mの間の津波が予想されたら「予想される津波の高さ5m」と発表します

予想や観測で発表される「津波の高さ」はこの高さのこと?



「津波の高さ」は津波がない場合の海面からの高さです。津波が陸上で崖などを駆け上った高さは、津波の高さの何倍にも達することがあります。

津波観測に関する情報

津波警報の発表後、沖合や沿岸の観測点で観測した津波の高さや到達時刻を発表します。

高い津波が来前、津波の高さを「観測中」として発表します

- ・大津波警報や津波警報が発表されている時には、観測された津波の高さを見て、これが最大だと誤解しないように、津波の高さを数値で表わさずに「観測中」と発表する場合があります。

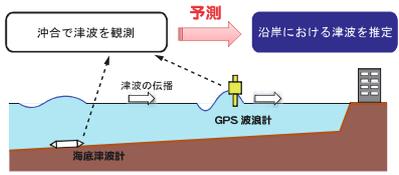
津波は何度も繰り返し襲ってきて、あとから来る津波の方が高くなる場合があります!

津波の高さを「観測中」と発表する基準

- 大津波警報を発表している沿岸で、観測された津波の高さが1m以上のとき
 - 津波警報を発表している沿岸で、観測された津波の高さが20cm以上のとき
- ※ただし、沖合の観測点においても基準を設け、それより小さな観測値は「観測中」と発表します。

沖合で観測した津波の情報はいち早く伝えます

- ・沖合の観測データを監視し、沿岸の観測よりも早く、沖合における津波の観測値と沿岸での推定値を発表します。
- ・予想よりも高い津波が推定されるときには、ただちに津波警報を更新します。



津波は、沖合では低くても、沿岸に近づくと高くなります!